緑のサポーター交流広場「みどりのカフェ」レポート 10月24日(水)みどりのレッスンを開催しました

今回は、ガーデナーの井上華子先生から、 「球根を使って寄せ植えづくり」について学びました。

講義では、球根について教えていただきました。球根とは、植物の根や茎などの器官の一部が肥大し、大量の養分を貯蔵するものです。乾燥、低温、高温等の悪条件に強い性質です。

球根の分類についても教えていただきました。 植物学上の分類

ゆうひりんけい むひりんけい きゅうけい かいけい こんけい かいこん

有皮鱗茎、無皮鱗茎、球茎、塊茎、根茎、塊根と6分類されています。 有皮鱗茎は外皮を持ち、乾燥に強く、無皮鱗茎は外皮に覆われていないため 乾燥に弱く、バーミキュライト等の土の中に入っている状態で売られていま す。

植え付け時期による分類

春植え、夏植え、秋植えと3つあります。夏植え球根(コルチカム、サフラン)は、暑い時期に作業をするのは大変ですが、植え付けから開花が早くおすすめだそうです。これからの時期に植えつける秋植え球根は、チューリップ、ヒヤシンス、ムスカリなどがあり、足立区では12月上旬まで植え付けできます。

後半の実習では、チューリップの球根を使った ダブルデッカー(二層植え)の寄せ植えを行いま した。

作り方は、まずチューリップの球根を土に植えつけます。深さは、その球根の2個分程度です。 球根の向きを揃えると花が咲く際に綺麗です。

次にチューリップの球根が埋まる程度の土をいれ、その上にビオラ 2 苗、スイートアリッサム 1 苗を植え付けました。

水やりは、2,3日に1回程度、土が乾いたらあげてください。チューリップの球根だけを植えると水やりを忘れてしまいそうですが、ダブルデッカーにし、花も植えることで水やりもしっかり行えると思います。

冬の花を楽しみながら、チューリップが咲くの を楽しみに待ちましょう!





球根の平らな面を 内側にして、植えつ けました!



